

別紙第一

可及六次命申第之五號

堀部部隊命令

十月十八日  
サシヤゴ

一 堀部橋、躑躅橋、三出雲橋、流矢に依り交通障碍、第三、第四小隊、終  
カ、依り九日其ノ通過設備ヲ終リ部隊ノ輸送ニ任スベシ、自動車中  
隊車輛ハ昨十日午後、五々ヤゲニ到着スルストヲ得テ本十日十三  
時、サシヤゴニ配車セラルル豫定ナリ、

二 部隊主力ハ「サシヤゴ」轉移ノ夕、明日「サシヤゴ」現在地ヨリ出發シ先ヅ「サシヤゴ」  
ニ向シ前進セントス

三 本部隊、各小隊ハ、明十二日七時現在地ヨリ發生記行軍序列ヲ  
以テ先ヅ「サシヤゴ」ニ向シ前進スベシ

第四小隊 本部 器械小隊

四 本部、各小隊ノ配車區分次ノ如シ

區分

車輛所屬

車輛數

水 類

隊長外將校

入前及行李

糧 秣

酒 保 給

被 服

衛生材料

第四小隊

器械小隊

人員裝束  
之馬匹

口

トク

トク

トク

トク

トク

P

P

トク

乘用車

貨車

〃

〃

〃

〃

〃

〃

貨車

五 第四小隊ハ行軍間、前方ノ傳報收集並ニ復察ヲ行ヒ、  
我ニ任シ萬遺憶ナキヲ期スベシ  
第三小隊ニ配屬中ノ山崎小隊ヲ其ノ指揮ニ復歸セシム

目下作業ヲ終了シバボン及其前方ニ待機シアル小隊主  
力ハ明十二日十時迄ニコイシナイヤシニ集結シ本隊到着ト共ニ

前記行軍序列ニ入り前進スベシ

六 第三小隊長ハ本日ヲ以テ其ノ協力ヲ解カル依テ東地區救急  
備隊長ノ指揮ニ復歸スベシ

尚目下配属中ノ山崎分隊ヲ察前屬ニ復歸セシムベシ

七 器械小隊長ハ前記配車區分ニ基キ其ノ準備ヲ實施シ

本十日夕刻迄ニ器械其他積物ノ車輛搭載ヲ完了スベシ

尚兵站自動車中隊車輛ノ到着ニ伴フ之カ配車ニ関スル

連絡ヲ担任處理スベシ

行軍間ノ後方警戒ハ器械小隊之ヲ實施スベシ

八 本部急係ハ器械小隊長ト連絡シ成ル可ク本夕迄ニ積物ヲ搭

載シ準備ヲ完ラシアルベシ

九 明十二日朝食ヲ喫シ中食ヲ準備スル外糧秣三百分ヲ携行

人ハ少

中服、夏袴、袴袴(半袖)、軍靴、巻脚絆ヲ着シ、鐵帽ヲ所持ス

江網部ニ関シテハ別ニ指示ス

又

部隊長 堀地 少佐

下達法 命令受領者ヲ集メ、要旨ヲ達後、第四小隊長ニハ電

話ヲ以テ傳達ス

竹内自動車中隊ニ筆記セルモノヲ交付ス

別紙第三

夏六休命甲第二七五號ニ伴フ注意事項

一 移動準備

- (一) 部隊移動ニ伴フ防諜ヲ嚴シシ公用品以外絶對ニ北方民家ニ出入ヲ禁スルト共ニ地方民ノ宿舎ニ入ヲ嚴禁スル事
- 兵力變化等ニ関スル一切ノ言動ヲ完封スル事
- 事務室ハ特ニ紙屑ノ處理ヲ完全ニスル事
- (二) 備用陣營具其他自隊以外一切ノ物件ハ其儘トシ北村中尉ニ申送り處理セシムル事
- (三) 各宿舎内ニ於ケル各種點紙等ハ絶對ニ残サザルカクスルト共ニ全部隅々ニ至ル迄清掃ヲ行セ後塵ヲ殘シ部隊ノ汚名ヲ正ムルガ如キ事
- (四) 災ノ豫防ヲ注意スル事

二 行軍間

37

- (一) 作命ニ基ク警戒担任者ハ勿論ナルモ各人常時ハ方ニ警戒シ萬一  
 場合即刻敵ト邂逅シ之ヲ撃滅シ得ルニ勢ニアル事
- (二) 之ヲ為各車共車長ヲ明シ其ノ命令ニ基キ自動行動ノ原則ニ從  
 ヒ整齊規律アル兼下車警戒等ノ行動ヲナス事
- (三) 車長ハ自動車をト密ニ連繫ヲ保持シテ行動スル事
- (四) 自動車をハ要々指示セラレアル自動車を運轉ノ規律ニ從ヒ少クとも  
 ノ技術的運行ノ関シ事故ノ發生ヲ齎スカ如キトナ様遺憾ナ  
 カラシムル事
- (五) 自動車相互間ハ常時連絡ヲ保持スルニ務メ故障發生ノ場合直  
 ニ之カ處置ヲナシ得ル如クナス事

別紙第三

夏六作命甲第ニ七六號

堀地部隊命令

十月十日九時

一 器械小隊長ハ九時三十分自動偵車一輛ヲ準備シ急病久院送

者ヲハヨシボン患者療養所ニ輸送ス

二 北村中尉ハ其一分隊ヲ以テ前項輸送ノ敬言成ヲ安以施スベシ

部隊長 堀地少佐

下達法 命令受領者ヲ集メテ達ス

1700

別紙第四

堀地部隊日日命令

九月十一日

週番士官

見習士官

加藤利徳

同 下士官

陸軍伍長

山崎壽喜

一 厩週番上等兵

陸軍上等兵

益田秋登

右者頭書通り末週服務ヲ命ス

39

1701



十月二十日

月曜晴天

行勤

一前隊主力八夏六作命甲第二七五號ノ行軍序列ヲ以テ七時「サンヤマゴ」ヲ出發ス

二第一隊山崎分隊ハ前方警戒ニ任シ十時其先頭ノ以テ「インディアナ」ニ到着ス同地點ニ池内見習士官指揮スルノ第一

四小隊主力集結シアリ

三池内見習士官ハ六日以來本隊ニ先行シ水村見習士官ト共

ニ掘地橋及躑躅ノ復舊ニ任シ徹宵之ヲ完成セシメタル

作業ニ関シ部隊長ニ報告ス

四「インディアナ」ニ於テ夏六作命甲第二七五號ヲ下達シ「ロザレ

ス」「ウミシガン」道ノ偵察ヲ多シ第一隊主力ヲ「ロザレ」又設

營ノ多ク松本經理部見習士官以下本部人員九名ヲ自動

偵車六輛ニ依リ先行セシム

五部隊方ノ先頭ハ十二時三十分アリタオニ到着ス。自動便  
車中運行不調ノモノアリタマカント川門橋渡河等  
當時間ヲ要スル爲後尾車輛ノ到着ハ未ダ三四時間  
ルヲ以テ爾後経路ハ狀況ヲモ考慮シ一應集結スルヲ  
適當ト認メ本夜「アリタオ」ニ宿營スルニ決ス  
六十五時宿營ニ関シ夏六作命甲第二七八號ヲ下達シ  
「アリタオ」小學校ニ宿營ス  
七十六時三十分全車輛到着ス  
八十六時明日ノ出發ニ関シ夏六作命甲第二八九號  
ヲ下達ス

命令

夏六作命甲第二七七號

埴地部隊命令

廿日十二時九時  
付  
イ  
ン  
デ  
イ  
ア  
サ  
シ

一部隊ハ一部隊以テ道路偵察並ニ設營ノタメ「口

備考	器械小隊	第四小隊	第三小隊
一退院	一五	一三	
第一隊	九	一	
兵長青田正良	一六	二六	
上筆兵小寺勇	三六	龜行	
	アリタオ	ウミンガン	井手部隊既属中

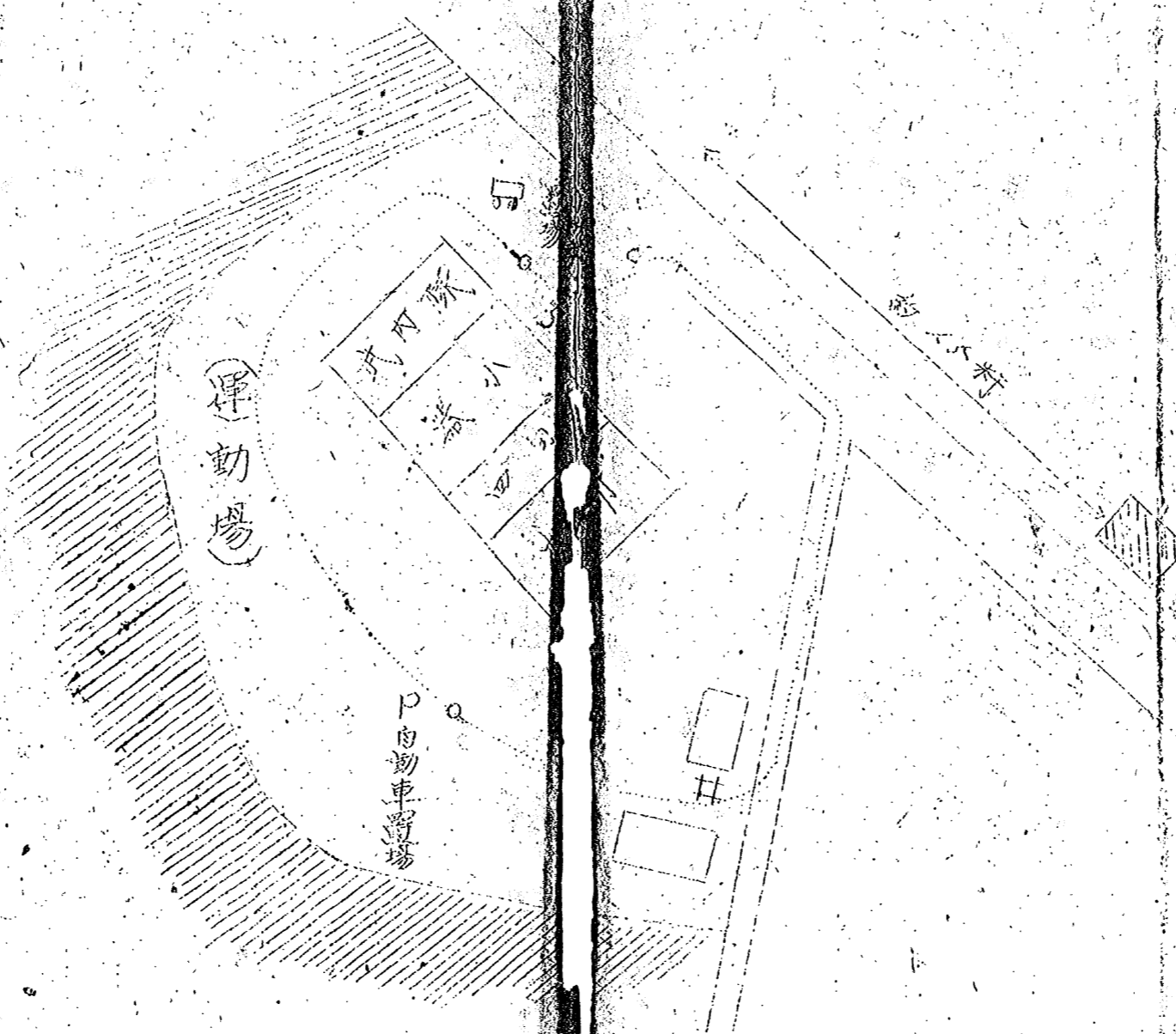
44

1704

1705

# 警戒要圖

(アリタオ 學校)



警戒勤務、十六時以降ト入  
夜間、適時動哨ニ依リ区内ヲ敬言戒メ、  
用務以外地方民ノ構内之入ヲ禁ス

夏六作命甲第三七八號別紙

アリタオ隊

サホセ

1706

十月十日  
入職晴天

行動

ス

二八時三十分其ノ先頭ヲ以テ「カヲバ」山ヲ越ヘ、  
バス峠ニ到着ス、霧雨深シ、後尾到着ヲ待テ、出  
發「サンホセ」ニ向フ

三十時異状ナク其ノ先頭ハ「サンホセ」ニ到着ス、警備隊  
ニ連絡シタルニ、昨日先行シタル第四小隊ハ、昨夕刻「ウ  
ンホセ」ヲ通過シ「ウミンガン」ニ向ニタルモ、「ウミンガン」

西方道路ハ泥濘甚シク通行至難ナル旨ヲ承知ス  
四土時藤村中村ハ山崎分隊ヲ警戒戒兵トヤシ、自動偵察  
ニ輛ヲ以テ「ウミンガン」ニ至リ、同地警戒隊ヨリ「ウミンガン」  
ヨリ「道」ノ泥濘ノ状況ヲ聴取ス、而ルニ該進路ハ

千数輛ヨリナル部隊主カノ進路トシテハ全ク不慮  
 ニシテ大ナル迂回ヲナスカバソツアノヨリタルラツク  
 ニ廻リカルクニ進出スルヲ察テ可ナリト思惟セラ  
 レタリ依テ直ニサンホセニ引返シ部隊長ニ報告  
 ス十三時ナリ  
 尚シミガンニ於テ藤村中尉ハ昨日先行シタル第四  
 小隊ハ昨夜ウミガンニ宿營シ今朝七時ヨザレス  
 ニ向ヒ出發シタルヲ承知ス  
 五部隊主カハ十三時三十分サンホセヲ出發シカバソツア  
 ンタルラツクカルクニ道ヲ前進シワザレスニ向フ  
 六冠野伍長ハサンホセ到着ト共ニ不急器械ヲタルラツ  
 ク部隊荷物集積所ニ輸送スルタメ自動偵車ニ  
 輛ヲ以テタルラツクニ向ヒ主カヨリ分進出發セリ  
 七タルラツクニ於テ補充シタル燃料不良ノタメ自動車ノ

運行不調ノモノ、故にシテ行軍序列整ハサルモ十九時  
 先頭ヲ以テ「ワザレ」ニ到着ス  
 八 敵營ノタメ先行シアリタル松本見習士官ハ第四小隊  
 ト共二十四時三十分、悪路ヲ難行シ「ワザレ」ニ到着シ  
 アリテ大槪宿營ノ準備ヲ急シアリ  
 九 二十時三十分宿營命令ヲ下達ス依テ本部各小隊ハ  
 其ノ配宿區分ニ據リ夫々宿營ス  
 十 藤村中尉ハ同地警備隊ニ至リ附近ノ敵情及警備  
 配置ノ状況其他ニ関スル連絡ヲナシ命令受領者ニ  
 對シ警戒及宿營等ニ関シ注意ヲ與フ  
 十一 地内見習士官ハ「ワザレ」ウミシガン道ノ偵察ニ関シ部  
 隊長ニ別紙第一如キ報告ヲ行フ  
 依テ二十時該道路ノ補修作業ニ就キ夏六作命  
 甲第一二號ヲ下達シ且夫々之カ指示ヲ與フ



今令  
夏六夜命甲家三ノ號

茲七部隊命令  
十月十三日  
サレスレ

- 一 部隊ハ當分ロサレスニ宿營セントス
- 二 本部各小隊ハ別紙配宿區分ニ基テ宿營スベシ
- 三 第四小隊ハ分哨一ヲ本部宿舎東方約二ヨ米ノト  
宇路ニ位置セシメ部隊ノ警戒戒ヲ實ニ施スベシ
- 尚本部並ニ各小隊ハ夫々直接自衛的警戒ヲサ  
スベシ

四 日直勤務次ノ如シ  
 部隊日直將校  
 木村見習士官  
 部隊日直下士官  
 河野兵長

五 日課時限ヲ次ノ如ク定ム  
 起床 六時五分 日朝点呼 六時半分  
 朝食 七時 診 九時

サレスニ向ヒ先行セシメントス  
 ニ第四小隊長ハ其ノ小隊（一分隊）ヲ以テ本隊ニ先行  
 シ「ウミソウザン」カルク道ヲ自動車通行ニ支  
 障ナカラシムル如ク補修スル目的ヲ以テ其ノ偵  
 察ヲ行ヒツツ「ワザレス」ニ至リ部隊ノ設置ヲ  
 協カスベシ  
 三 松本見習士官ハ石原軍曹以下本部所屬人員  
 ヲ以テ自動車三輛ニテ第四小隊ニ同行「ワ  
 サレス」ニ至リ部隊ノ設置ヲ準備スベシ  
 「ワザレス」前在部隊及町當局ト連絡ヲ密ニ  
 スベシ  
 四 予ハ本十三日「アリタオ」ニ宿營シ明日十三日早朝  
 出發「ワザレス」ニ至ル

部隊長 堀地少佐

1711

下達後 命令受領者ヲ集メテ述ビ

夏六夜令甲第ニモハ號

堀元部隊命令

廿月十二日十一時  
アリタオ

一 部隊ハ今夜アリタオニ宿營セントス

二 本部隊各小隊並ニ兵站自動車中隊ハ別紙既宥

區分ニ基テ宿營スベシ

三 警戒並ニ勤務吹ノ如シ

部隊日直將校(兼巡察將校) 加藤 見習士官

部隊日直下士官 梶原 伍長

部隊衛兵 下士官(兵長)一 兵六 器材小隊

四 日課時間ヲ次ノ如ク定ム

夕食 十七時 日夕点呼 十九時

起床 五時

五給養ハ携帶糧秣ニ依ルベシ  
六予ハ「アリタオ」機警備隊内ニ在リ

部隊長 堀地少佐

下達法 命令受領者ヲ葉×口達ス

夏六依命甲第二七九號

堀地部隊命令 甲第二七九號  
アリタオ

一部隊八期十三日七時現在地出發「ワガレス」ニ向

ヒ前進セントス

二本部各小隊ハ夏六依命甲第二七五號ノ行進

序列ニ依リ七時「アリタオ」ヲ出發シ「ワガレス」ニ

向ヒ前進スベシ

配東區分ハ前ニ同シ

三冠野伍長ハ「タルラック」部隊領物集積所

宿務  
地現員

三 到ルベク自動偵察車三輛ヲ指揮シ「サンホセ」  
 司リ分進 河集積所ニ到リ不急器杖ヲ米田  
 伍長ニ申送リタル後速カニ「ワザレ」部隊  
 本部ニ追及スベシ  
 四 給養ニ関シテハ大本主計中尉ヲシテ指示セシ  
 ム  
 五 予八朔朔七時出發本部ノ前方ニアリテ前進ス  
 部隊長 堀地少佐  
 下達法 命令受領者ヲ集メ口達ス

區分	派遣	入院	出張	附部	現員	摘要	宿營地
本部	二	七	一		三五	四五 五名先行	アリタナシ
第一小隊					二		渡邊部隊配属中
第二小隊					二		田邊部隊配属中

晝食 十二時 夕食 十七時

田舎洋 六時五分 消燈 五時

六 給養ニ関シテハ大水主計中尉ヲシテ指示セシム

七 予ハ現在地ニ下リ

部隊長 堀地 少佐

達法 命令受領符ヲ集メ口達ス

夏六作命 甲第三二一號

堀地 部隊 命令

七月十三日 至時

13693

一 部隊ハ夏作命 甲第三二一號ニ據リ速カニ口ガレ

ス「ウミンガン」間ノ道路ヲ補修シ自動車ノ運行

ニ支障ナカラシメントス

二 第四小隊ハ朔十四日全カヲ以テ口ガレス「ウミン

ガン」間ノ道路ヲ補修シ速カニ自動車運行

ニ支障ナカラシムベシ

自動偵察車四輛ヲ屬ス

作業室以テニ関シテハ警備隊ト密ニ連絡スル

勿論作業中ト雖モ常ニ警戒ヲ嚴ニスベシ

三 器械小隊長ハ明日自動偵察車四輛ヲ第四小隊

長ノ指揮ニ入ラシムルト共ニ部隊自動専用燃料

之ニ器械補給ニ関シバゾオ兵團司令部ニ連絡

處置スベシ之ヲ警戒ハ自隊ニ於テ演習施ス

ベシ尚本部及小隊宿舎間ニ電話ヲ架設

スベシ

四 兵器掛ハ道路補修用材料ノ整備ニ任ズベシ

之ニ要スル人員及自動偵察車ノ使用ニ関シ

テハ第四小隊長ト協定スベシ

五 予ハ現在地ニ在リ

49

49

49

49

部隊長 堀地少佐  
下達法 命令受領者ヲ集メ口達ス

堀地部隊ヨリ命令 十月十三日

陸軍軍曹 山形忠夫

十月十四日糧秣補給連絡ノタメ「バギオ」兵團司令

令部ニ出張ヲ命ス

陸軍軍曹 新藤克一

十月十四日即日歸隊ノ豫定ヲ以テ患者ヲ護送

茲ニ衛生事務連絡ノタメ「バギオ」兵團司令部

ニ出張ヲ命ス

陸軍軍曹 園山吉藏

入院ヲ命ス

「バギオ」間道路偵察要圖 別紙第一

偵察

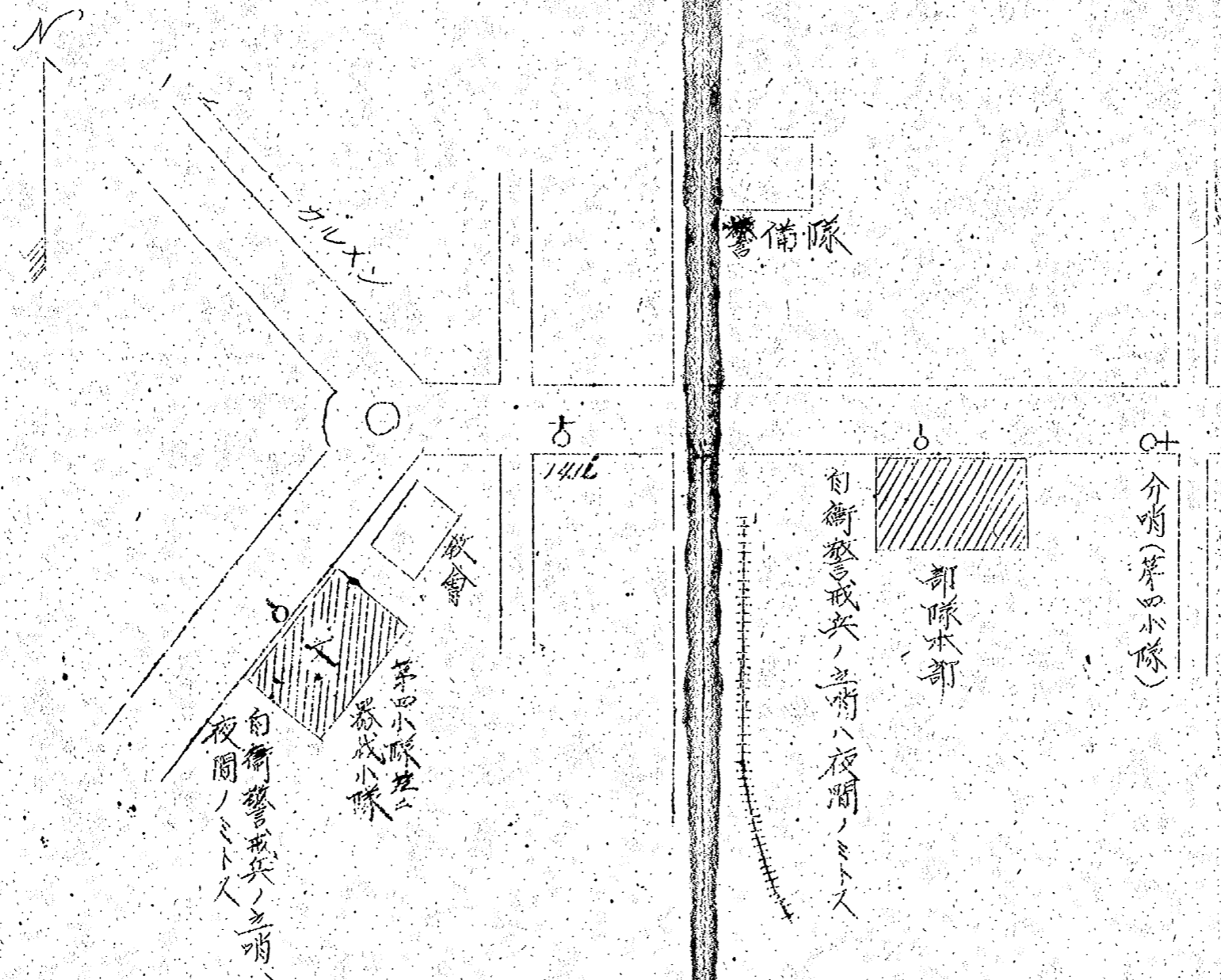
1717



宿營地  
現員

區分	派遣	入院	出張	現員	摘要	宿營地		
本部	二	七	一	三	五	ワサレス		
第一小隊				二	三	渡邊小隊配屬中		
第二小隊				二	三	臼邊小隊配屬中		
第三小隊						井手小隊配屬中		
第四小隊		一	一	三	六	ワサレス		
器材隊	一	五	九	一	六	三	六	ワサレス

圖要戒警分區宿配

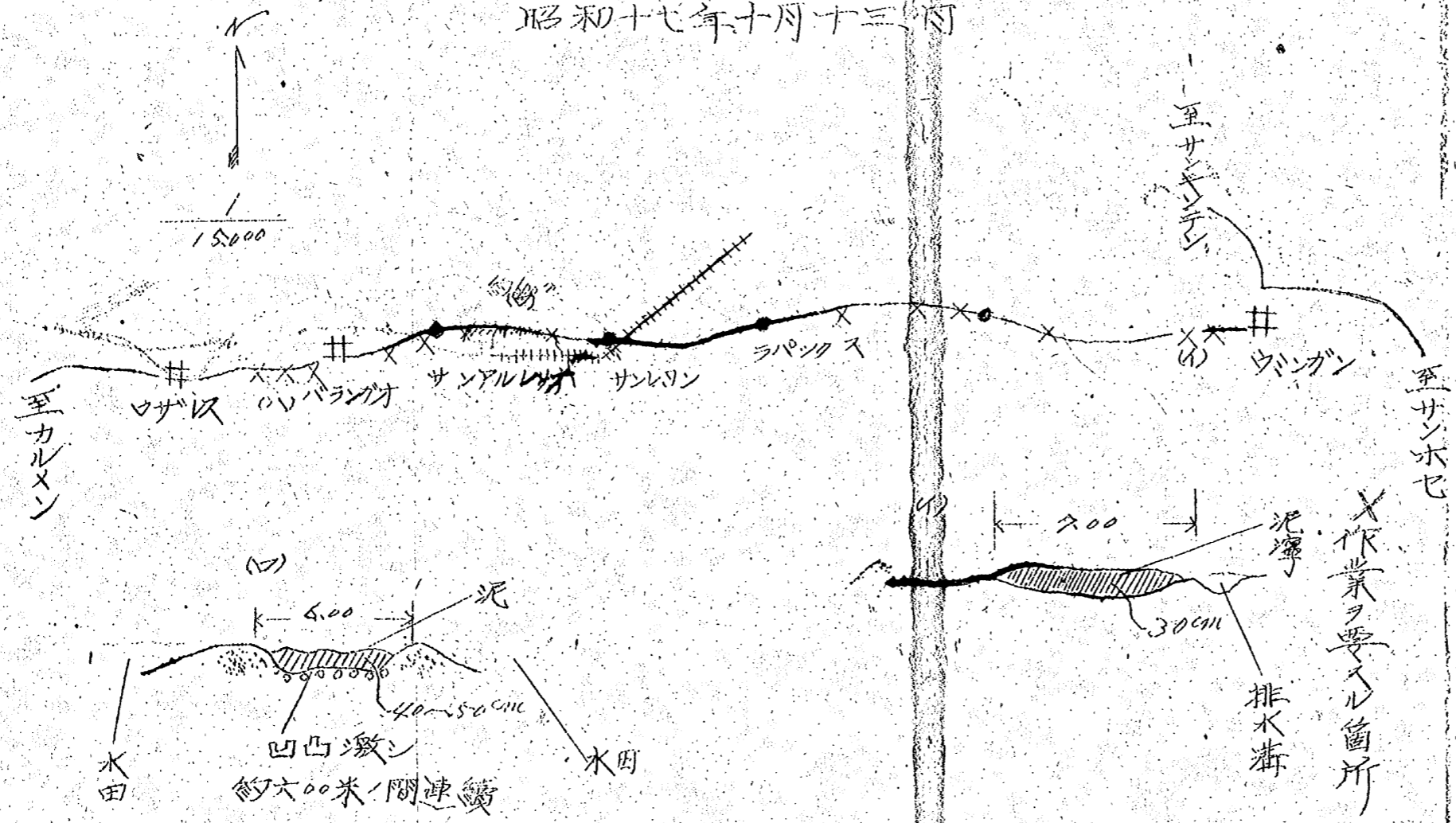


夏六作命甲第六號  
別紙  
ウミンガン

01  
02  
03  
50  
04

「ロザレス—ミンガン」間道路偵察要圖

昭和十七年十月十三日



別紙第一  
 判決  
 ナシ  
 約三週間ノ作業ニテ自動偵察車ノ通行ニ支障

十月十四日

水曜晴雨

行動

ハロサレス「ウミンガン」道ノ自動車通過設備ノタメ第四  
 小隊長以下四十八名ハ自動車四輛ヲ以テ出發ス  
 該道路ハ「サンレオン」「サンアウレリ」間最悪ニシテ  
 雨期未ダ終焉セス且周圍ハ低耕地ニシテ自動車ノ  
 通過設備至難ナルヲ以テ更ニ別途偵察ヲ實施シタル  
 ニ該道路ト平行敷設セラレ使用セラレアル鐵道線  
 路ニ施設スルヲ良策トナシ十時小隊長ハソノ旨ヲ部  
 隊長ニ報告シ之ヲ採擇スルコトス  
 ニ右新方針ニ伴フ敷板資料ニツキ調査シタル結果「サ  
 ンレオン」東方約八軒「カリダツト」附近ノ米比軍舊兵  
 舎ヲ分解スルヲ適當トナシ十八時歸還ス  
 正午頃ヨリ雨来リ行動ニ支障アリ

二 大元准尉ハ前項材料收集偵察ニ同行シ十八時歸隊ス  
 三 「ワサレス」ウミンガン道ノ補修作業ハ其ノ重点ヲ先ツ  
 「カンレオン」サンアウレリオ間ノ最悪点ニ指向スルヲ  
 トトシ該平行鐵路ノ自動車通過設備ノタメ十八  
 時夏六作命甲第二八二號ヲ下達ス  
 五 村竹曹長ハ燃料及器械補給ノタメ八時自動領車  
 ニ輛ヲ以テ「バダオ」兵團司令部ニ至リ用務ヲ了シ  
 十九時五分歸隊ス  
 同時兵團參謀宛別紙報告ヲ提出セシム  
 六 冠野伍長以下三名ハ部隊本部(將校宿舍及事務室)  
 小隊(第四器械班)小隊(宿舍間)電話架設ヲ完了シ  
 十時四十分終了ス  
 七 糧秣補給連絡ノタメ山形軍曹入院患者護送衛  
 生事務連絡ノタメ新藤衛生軍曹ハ前記村竹曹

長ノ自動偵察車ニ便乘シ夫々用務ヲ了シ十九時三十分  
歸隊ス

着任ハ西部第四部隊ヨリ轉属ノ陸軍主計軍曹藤井  
博ハ部隊移動ノタメバオ兵團司令部ニ待機中  
ナリシカ本日前記自動偵察車ニヨリ部隊本部ニ  
到着ス

命令 夏六作命甲第 三八二號

堀地部隊命令

十月十四日大尉  
ワサレス

一 部隊ハワサレスコウミンガン道自動車通過ノタ  
メ全機能ヲ之ニ結集シ速カニ之ヲ完成ス期  
セントス

二 第四小隊長ハ其ノ主カヲ以テサンレオンニ位置  
シ該地ヲ起點トシサンレオンコバルンガン間ノ自

- 動車通過設備作業ヲ推進スベシ
- 尚同作業ノタメ其ノ一分隊ヲ明十五日ワザレス
- ニ於テ加藤見習士官ノ指揮ニ入ラシムベシ
- 三加藤見習士官ハ明十五日第四小隊一分隊ヲ以
- テ第四小隊長ト密ニ運繋ヲ保持シ「バルンガ
- ン」ヲ起點トシテ「ワザレス」ウミンガン道ノ自動
- 車通過設備ヲ實施スベシ
- 四六元准尉ハ第四小隊長ト共ニ「サンレオン」ニ至
- リ前項交通作業資材ノ整備ニ任スベシ
- 五器械小隊長ハ依然「ワザレス」ニアリテ前任務
- ヲ續行スルト共ニ部隊宿舎リ電燈設備ヲ
- 實施スベシ
- 六予ハ現在地ニアリ

部隊長 堀地少佐

報告  
宿營地  
現地員

下津法 命令受領書ヲ集メテ口達ス

ワサレス「ウミンガン」前偵察報告(兵團司令部提志)別紙第一

區分派遣入院出張	本部	第一	三五	宿營地
第一小隊	二	五カ		渡邊新隊ヲ屬中
第二小隊	三	五カ		日邊新隊既屬中
第三小隊	四	五カ		井手新隊既屬中
第四小隊	五	五カ		ワサレス
器械隊	六	五カ		ワサレス
備考	七	五カ		入院 第一小隊 第一等兵 園山寺藏

54

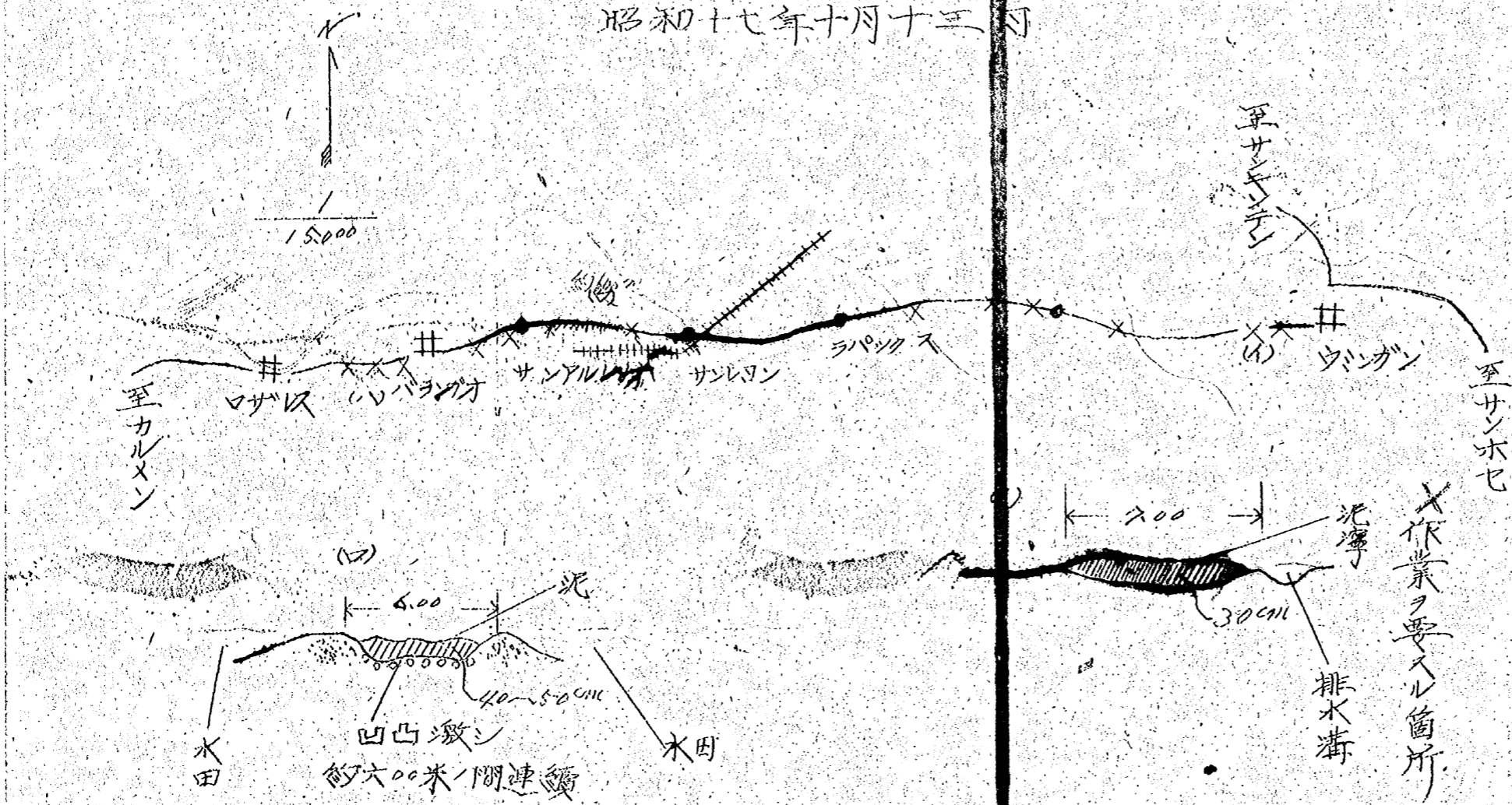
1725



1726

「ワザレスーバンガン」間道路偵察要圖

昭和十七年十月十三日



別紙第一  
 判決 約三週間ノ作業ニテ自動偵察車ノ通行ニ支障  
 ナシ

1727

十月十五

水曜 曇天

行動

一 第四小隊長 池内見 習士官ハ夏六作命申第三ニ  
 ニ號ニ基キ「サレオン」ニ位置シ同地ヨリ「バレン」ガ  
 間ノ鐵道線路ニ對シ自動車通過ノ設備ヲ爲  
 スタメ八時「ワザレス」ヲ出發ス

二 加藤見 習士官ハ第四小隊長第三四分隊並ニ地方民  
 百六名ヲ指揮シ前記作業ニ協力シ「ワレン」ガオレ  
 方面ヨリ作業ニ着手シ八號道ヨリ鐵路ニ至ル進  
 入路約四料ノ四割ヲ補修シ十七時作業ヲ終ル  
 三 大元准尉ハ作業材料收集ノタメ池内見 習士官ト同  
 行ス

四 器械小隊長ハ「ワザレス」方面ニ於ケル道路作業ノタメ  
 八號道ヨリ輸送ヲナス

五 冠野伍長ハ本部小隊宿舎間ノ電話架設ヲ行ヒ  
 十一時之ヲ終リ尚カルフック部隊偵物ヲヨリ發電  
 機ヲ輸送シ、電燈設備ヲ實施ス。二十時終了ス  
 六 部隊ニ配屬セラレタル戸伏大隊無線一分隊ハ大下兵長  
 以下四名十七時「ワサレ」部隊本部ニ到着ス  
 七 十八時四十分十二號道破壊橋梁補修ノ爲部隊ハ速  
 カニ「ワサレ」ニ至ルベキ兵團命令要旨ノ電報  
 ヲ受領ス  
 八 十九時前項命令ニ基テ之カ準備ニ関シ夏六作  
 命令甲第二八三號ヲ下達ス

命令

夏六作命令甲第二八三號

堀北部隊命令

十月十五日十九時

一 殘存兵匪ノタメ第十二號道「キヤンブ」三「キヤンブ」四間

ノ橋梁ハ十四日夜破壊セラレ兵團司令部ハ速カ  
 ニ其ノ復舊ヲ要請シアリ  
 ニ部隊ハ兵團命令ニ基キ現作業ヲ中止シ速カ  
 ニワザリホニ集結ノタメ之カ準備ヲサナントス  
 ニ第四小隊ハ朔早朝現行作業ヲ中止シ直ニワザ  
 レスニ集結スバシ  
 加藤見習士官ニ属シアル一分隊ハ朔早朝榮  
 所屬ニ復歸セシム  
 四加藤見習士官ハ現行作業ヲ中止シ第四小隊  
 分隊ヲ本屬ニ復歸セシムベシ  
 五器械小隊長ハ現行作業ヲ中止シ夏六作命甲第  
 二八ニ號ニ拘ラズ所要ノ人員ヲ以テ十六日早朝カ  
 ンベシ掘井工兵小隊及「カンレオン」第四小隊ヘノ運  
 送ニ任セシムルト共ニ爾餘ヲ以テ器械輸送ノ準

備ヲ實現スル外全自動車ノ整備ヲ完カシ  
メ部隊ノ輸送ニ遺憾ナカラシムベシ

六 大元准尉ハ夏六作命甲第ニハ飛ニ拘ラス速  
クニワガレ又ニ歸還シ部隊移動ニ伴フ準備ヲナ  
スベシ

七 堀井工兵小隊ハ現在地ニ急撤シ速カニワガレテ附  
近ニ集結スベシ

八 爾餘ハ夫々移動ノ多ノ準備ヲ實現スベシ

九 細部ニ関シテハ藤村中尉ヲ指示セシム  
十 予ハ現在地ニ在リ

部隊長 堀井 少佐

下達法 命令受領書ヲ集メテ口達筆記セシム後印刷交付ス

堀井工兵小隊ニ自動車ニ依リ印刷セルモノヲ交付

一 姫地部隊日日命令

十月十五日

陸軍主計軍費

藤井博

第六十五旅團工兵隊附ヲ命ス(九月十七日附)

二 陸軍上等兵

井上利八

陸軍兵長ヲ命ス(九月二十五日附)

電報

電報

發信 十月十五日 十時五分  
受信 十月十五日 十時四十分

夏參電第一六四號

一 兵團工兵隊ハ速カニワザリテ附近ニ集結シタル後  
キヤンゾ三ノキヤンゾ四間ノ諸橋梁ヲ補修スベシ  
堀井工兵小隊モワザリテ附近ニ招致スベシ

電報

夏作命甲第三八二號要旨

發信 十月十五日 十時五分  
受信 十月十五日 十時四十分





十月十六日

金曜時後雨

行動

一 部隊ハ夏六作命甲第二ニハ三號ニ依リ作業ヲ中止  
 シ速クニ「ワザリオ」ニ集結シタル之カ準備ヲ止メ又  
 二 七時第四小隊山崎伍長以下六名ハ「グクレー」ノ堀井  
 工兵小隊ハ器械小隊縮員伍長以下四名ハ「サンレ」  
 第四小隊ニ夫夫夏六作命甲第二ニハ三號ノ傳達ニ  
 至リ縮員伍長ハ十時、山崎伍長ハ十二時夫夫異狀ナク  
 歸隊ス、因ニ堀井工兵小隊ハ出張其他ノタメ「ワザリ」  
 前進ハ十八時夕刻トナル見込ナリトノ報告アリ  
 三 池内見習士官ハ夏六作命甲第二ニハ三號ニヨリ四  
 百米ノ鐵路自動車道變更作業ヲ行ハリシガ之  
 ヲ中止シ十三時ニ「ワザリ」ニ歸隊ス  
 大元准尉モ亦同時歸隊ス

69

1734

四十二時十一號道坂壞橋梁ノ偵察及ワナリオ轉移

二閱スル命令ヲ下運ス

五十二時本日八靖國神社臨時大祭御親拜ヲミ遂拜式

ヲ舉行スハ兵團日ハ命令ヲ無電ニヨリ受領ス

時既ニ過ギ作業隊モ亦未ダ集結中ナリシヲ以テ

十七時三十分部隊集合ノ上靖國神社ニ向ヒ進軍

ヲ行フ

六十二時六團要旨命令ヲ無電ニヨリ受領ス

命令

夏六作命令甲第ニハ四號

基地部隊命令

廿月十六日十時

一部隊ハ第十一號道ノ偵察ヲ實施スルト共ニ

ワガリオニ前進セントス

二第四大隊長ハ其半大隊ヲ以テ洲十二日早朝出

發第十一號道ヲヤンブ三ノヤンブ四ノ橋梁  
 破壊ノ狀況ヲ偵察ス其ノ補修計畫ヲ策定シ  
 沫カニ之ヲ報告スベシ  
 自動偵車ニ輛ヲ屬ス  
 偵察終了後ハ直ニワザリテニ集結ス  
 尚殘餘ノ三分隊ハ之ヲ木村見習士官リ向  
 ニ入ラシムベシ  
 三 本部各小隊ハ明十七日別紙輸送計畫ニ基  
 ヤワザリテニ前進スベシ  
 四 木村見習士官ノ第四小隊ニ分隊ヲ指揮シ第  
 一次部隊輸送ノ警戒ニ任ズルト共ニワザリテ  
 到着ニ至ルニ該地附近ノ情報ヲ收集シ分隊  
 設營場ノ直接警戒ニ関シ區畫スベシ  
 五 戸伏大隊無線分隊ハ輸送間本部ト共ニ行動

スベシ

四 器械小隊長ハ別紙輸送計畫ニ據リ部員ノ輸送ヲ擔任スベシ但シ第一二次輸送ノ數多クハ自隊ニ於テ實施スベシ

尚明十七日早朝自動車ニ乘リ第四小隊長ノ指揮ヲ受テ本ル外電話及電燈設備ヲ檢査スベシ

六 經理官ハワザリ到着ト共ニ直ニ部隊醫務ノ準備ヲ為スベシ

七 細部ニ関シテハ藤村中尉ヲ指示センハ

八 予ハ明十七日午前九時ニアリテ前進シワザリオシニ至ル

部隊長 堀地 少佐

下達法 命令受領者ヲ集メ口達筆記ニシテ後印刷交付ス

郷地部隊の日命令  
 七月十六日  
 清國社臨時大祭三村々本十六日御親拜アラセ  
 ル部隊八同時刻送拜ヲ行フ  
 依テ左ノ如ク心得ベシ

- 一 場所 前
- 二 時間 十七時三十分
- 三 服装 徒音帶剣、巻帽詳ヲ着ス

区分	派遣	人数	服装	現員	宿	地
本	二	七	〇	五	〇	八
第一小隊	八	〇	〇	〇	〇	〇
第二小隊	〇	〇	〇	〇	〇	〇
第三小隊	〇	〇	〇	〇	〇	〇

宿地現員

備考	器械小隊	隊	隊
一五	一四	一	一
丸	六三六	六	六
一分隊	下	下	下
長	長	長	長
分	分	分	分
下	下	下	下
四	四	四	四
名	名	名	名

夏六休命甲第ニハ四號別紙

ガレレノガリ才輸送計畫

順序表發時刻  
區  
隊  
細別  
種別  
數量  
行軍序列

第一次 八時

本部	事務室	衛生行	經理	第四小隊
①	①	①	①	人員
二	二	二	二	領物
三	三	三	三	領押
四	四	四	四	一

本部  
事務室  
衛生行  
經理  
第四小隊

第二次 十二時 器械隊

器械隊  
馬匹  
①  
②  
③  
④  
器械小隊長  
署ニ據ル

一 本部各係及小隊ハ領物搭載等ニ関シ器械小隊長  
ニ連絡スベシ  
二 行軍時ハ各車共敬言ヲ嚴ニススベシ  
三 車長ハ自動車手ト常ニ連絡ヲナシツテ行動シ  
自動車行軍ノ原則ヲ嚴守スベシ